

# 空き店舗等活用事業補助金活用事例

## 炭火串焼き ころろ

JR四街道駅北口より徒歩約5分、消防署の隣に10月、ある飲食店がオープンしました。今回のインタビュー先である「炭火串焼きころろ」さんです。代表の金田洋平さんは令和5年度の創業塾に参加後、四街道市の空き店舗等活用事業補助金を利用したそうで、お話をお聞きしに行きました。



10月、オープンされましたね!遅ればせながらおめでとうございます。あれから店の調子はどうですか?

「おかげさまで無事オープンでき、順調なスタートを切ることができました。スタートアップの際は、金銭的な負担が多く、なかなか大変だったのですが、内装費、賃借料およびホットペッパーでの広告宣伝費を市に補助してもらえたのでとても助かっています。」

それは良かったです。ところで、内装にこだわられたとお聞きしたのですが。

「はい。お席を広く作ってあります。30名までの団体の方にもご利用いただけますし、個室も完備しています。」

立地も駅に近くとてもいい物件ですね。退社後もとても足を運びやすいです。それから、店名も炭火焼き鳥じゃなくて、炭火串焼きなのも興味を引きます。

「鳥以外にも豚、野菜肉巻きなど豊富なメニューをご用意しております。毎朝店舗で串打ちしており、とても新鮮です。」

一番のおすすめ商品は何ですか?

「白レバーですね。お客様からの評価もいただいています。」

美味しそうですね。ぜひ食べに行きたいです!

「ぜひお待ちしております!」

皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。



### 炭火串焼き ころろ

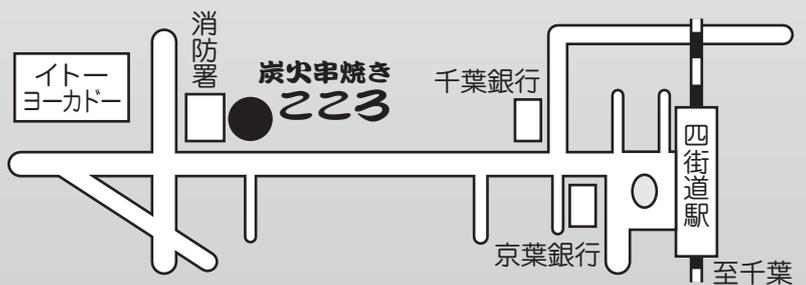
千葉県四街道市鹿渡 934-44

都島ビル 2階 A

043-308-4461

JR 四街道駅北口より徒歩約5分

毎週月曜日定休



### 販路開拓の目

#### 売り場レイアウトの小話

皆さんは「コンビニのドリンクコーナーが店の奥にある理由」を知っていますか?

実は、これはお客さんに他の商品を見てもらうためなのです。コンビニでは、ドリンクコーナーを奥に配置することで、お客さんが店内を歩く距離を増やし、ついでに他の商品にも目を向けてもらう狙いがあります。これにより、予定外の購入が促進され、売上の向上が見込まれます。私たちも、つつい目に見留まった商品を手にとってしまうことがありますよね。

売り場レイアウトには普段私たちが買物で気にする以上に目覚ましい工夫がなされています。人の視線や視点から、商品の見易さ、手に取りやすさが研究されているのです。例えば、「ゴールデンライン」もその一つです。これはお客さんの視点の高さを意味しており、もっとも商品が見やすく、手に取りやすい高さのスペースといわれています。売上の多くはこのスペースから生まれているそうです。一般的には床上60cm〜160cmの間とされています。しかし身長には男女差、子供と大人の差があるので、駄菓子屋さんの場合、ゴールデンラインはかなり低くなります。駄菓子屋さんの棚を低いと感じたことはありませんか?あれはまさにターゲット層の心を狙い撃ち。仕事や生活において、相手の行動を考慮したアプローチを心掛けることで、より良い結果につながるかもしれません。

